



(一社) 沖縄県労働基準協会
北部支部

支部長 **樽岡 誠**

明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中の北部支部運営が、名護労働基準監督署を始め関係行政機関、関係団体等のご指導、並びに協会本部、支部運営委員、そして会員の皆様のご支援ご協力により滞りなく遂行することが出来ましたことを厚く御礼申し上げます。

昨年は、石川・能登半島地震・豪雨をはじめ各地で災害が多く発生した年でした。また、11 月には北部地区でも大雨による土砂崩れや浸水被害が発生いたしました。被害の大きさに胸を痛めるとともに、気候変動の進行に伴う大雨や急激な気象変動による被害が避けられなくなる中、避難場所の確認や訓練など適切な備えと減災への取組みが重要であることを改めて思い知らされました。

さて、昨年の北部支部の活動としましては、北部地区安全管理推進大会及び北部地区労働衛生管理推進大会を開催するとともに、異業種勤労者の親睦と健康保



北部支部職員

持推進を目的とした第 8 回勤労者親睦ボウリング大会を開催しました。会員事業場の皆様の安全活動の定着化、労働衛生に対する意識の向上、健康づくりに多少なりともお役に立てていましたら幸いです。

本年も「安全第一・健康第一」で、労働災害を減らし、有所見率の改善に向け、名護労働基準監督署、他行政機関、協会本部並びに各支部との連携を取り、会員の皆様のご支援ご協力を得て、一丸となり取り組みたいと思いますので、変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、皆様のご繁栄とご健勝、並びに各職場の無事故、無災害を祈念しまして、新年の挨拶といたします。



名護労働基準監督署

署長 **上原 周**

新年あけましておめでとうございます。

旧年中、貴協会並びに会員の皆様には、労働基準行政につきまして、格別の御支援、御協力を頂き厚く御礼申し上げます。

昨年は、観光業の回復や個人消費の増加などにより、県内の経済状況は緩やかな拡大の動きが実感できる年となりました。本年は、ここ北部に大規模なテーマパークが開園予定であり、昨年以上に多くの観光客が訪れ、経済状況の拡大の動きは継続するものと予想されます。一方、物価高騰や生産年齢人口の減少傾向、慢性的な人手不足など、景気下押しの景況が懸念されることから、これらの課題を解決し乗り越えていくために重要な年になるものと思われま

す。さて、当署管内における労働災害発生状況ですが、2 年続けて「死亡災害ゼロ」を継続していたところですが、残念ながら、昨年は 4 人 (11 月末現在速報値) の方がお亡くなりになりました。また、休業 4 日以上の労働災



名護労働基準監督署職員

害においても増加 (11 月末現在速報値) という結果となっております。

本年において、私どもは、あらゆる職場で働く者の安全と安心を願い、第 14 次労働災害防止計画に基づく指導、法定労働条件の履行確保、適正・迅速な労災保険給付において、これまで以上の努力を傾ける所存であります。昨年同様、貴協会並びに会員の皆様方の御支援、御協力を賜りますよう、重ねて御願ひ申し上げます。

最後になりますが、貴会の益々の御発展と会員の皆様の御健勝を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。